

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 生活や社会で利用されている材料と加工に関する技術の仕組みや原理・法則などの基礎的な知識を理解することができる。
- (思考力、判断力、表現力) 生活や社会の中から材料と加工に関する技術についての問題を見だし、解決策を構想し、設計図に表現して粘り強く試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善することができる。
- (学びに向かう力、人間性等) 技術の見方・考え方を働かせ、自分の身の回りの生活が安心、安全で便利になるよう工夫したり、持続可能な社会の構築のために技術を活用したりしようとしている。

ICT活用のポイント

見方・考え方を働かせて、製作品の最適解を目指して検討する。振り返りにおいてデータの蓄積をする。

【つかむ】

前時の振り返りから、本時のめあてをつかむ。

【追究する】

前時までの話合いで修正した構想図をもとに検討する。

【振り返る】

本時のめあてに沿って、まとめと振り返りをする。

事例の概要

○よりよい製作品をつくるために、構想図をもとに検討する場面において、技術の見方・考え方を働かせてグループで話し合ったり、他のグループと意見交換をしたりして、構想図を修正する。

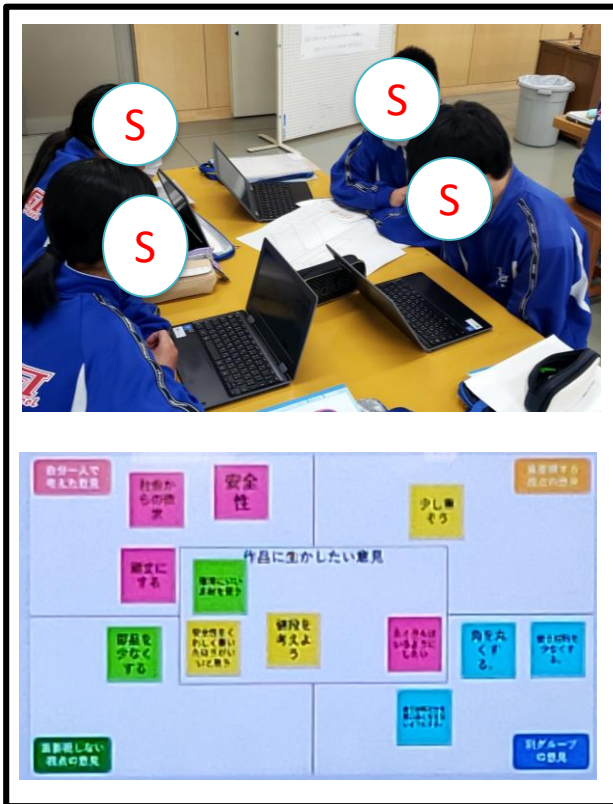
【事例におけるICT活用の場面①】

○構想図をもとに、学習支援ソフトのホワイトボード機能を用いて、話合いを行う。この際、技術の見方・考え方を視点として与え、整理できるようにする。

【事例におけるICT活用の場面②】

○本時で話し合った意見をもとに、構想図を修正し、修正した資料を大型拡大装置に映して発表する。最後に、表計算ソフトを用いて、振り返りを行う。

【事例におけるICT活用の場面①】



【活用したソフトや機能】

- ・「協働学習支援ソフト」・・・話し合い、製作品の検討
- ・「表計算ソフト」・・・振り返り
- ・カメラ機能・・・実物投影
(ワークシートを大型拡大装置に映す)

- ①課題解決のための協働的な学び
- ICTを効果的に活用するためのポイント
技術の見方・考え方について検討し、最適解を見いだすため、端末上の思考ツールを活用する。
 - ICT活用のメリット
(生徒) 同じ画面を見て、付箋を動かしながら検討できる。
(教師) 全員の検討結果が瞬時に把握できる。全体共有時、大型拡大装置に映し出せる。

- ②個の練り直し、振り返り
- ICTを効果的に活用するためのポイント
端末で検討した資料を見ながら練り直す。蓄積データを確認しながら振り返る。
 - ICT活用のメリット
(生徒) 検討資料や蓄積データを見ながら練り直しや振り返りができる。
(教師) 全員の振り返りが確認できる。

【事例におけるICT活用の場面②】

